

滝野川病院

医療相談室



相談受付時間

午前 9：00～12：00

午後 1：00～ 4：00

土曜日は、12：00まで

予約制となっておりますので事前に
電話予約をしてください

相談の内容は相談者様のご了解なく
他に漏れることはありません

医療相談室 直通 TEL・FAX

03 (5394) 5558

滝野川病院 広報誌

和 (なごみ)

第7号

平成19年7月

社会福祉法人 新栄会
滝野川病院

〒114-0023
東京都北区滝野川2丁目32番12号

TEL 03-3910-6336(代表)
FAX 03-3910-6745

ホームページ <http://www.takinogawa-hp.or.jp/>
e-mail takinona@cello.ocn.ne.jp

新人事紹介

風間先生が名誉院長 大澤先生が院長代行に

平成19年7月1日より当院の入院病棟の体制が変わります。

今までは、3階、4階共に療養型の病棟として患者様のケアを行なってきました。

これからは3階は一般型の医療体制の病棟、4階は療養型の病棟となります。

それと時を同じくして、従来、院長職として病院運営を指揮して下さった風間睦美先生が、7月1日より名誉院長となりました。

院長代行は従来副院長として、院長を支えておられた、大澤 仁先生が就任いたします。

現在の医療体制は非常に複雑であり、又、厳しいものがあります。

その中で、近隣の皆様にとって、安心と信頼を与えることの出来る、

地域に根ざした病院とするために当院は日夜努力しております。

これからの病院運営をどうぞ皆様暖かく見守ってください。

尚、名誉院長、院長代行共に外来での診療は従来通りおこないます。

合掌

風間睦美名誉院長のご母堂 風間 繁子様が本院

入院中に天寿をまっとうされて安らかな眠りにおつきになりました。

享年は99歳、100歳まで後数ヶ月を残しての旅立ちでした。

明治40年生まれの繁子さんはお若い時は文学少女だったとお聞きしました。

地方の素封家のお嬢様に育ちながら、物事をきちんと自分自身の目で捉えられる、進歩的なかただったのでしょうか。

繁子さんはやがてキリスト教のセブンスデイ・アドベンティスト派の信者となりました。心の平安を信仰に見出されたのです。

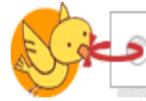
ご結婚後、よき妻、よき母として家庭をしっかり支えながら自己の信念はいささかも揺らぐことはなかったということです。戦時下の非常時でありましたから、敵国の信仰者として、時には特高警察が視察に来ることもあったと伺いました。

そんな中でもおのれの道を真っ直ぐに歩かれた繁子さん

私たちに見せてくださったのは明治うまれの女性の気丈さでした。

教会での葬儀には白百合を中心としたたくさんのお花に囲まれていました。天に召されて後はご夫君と共に安らいでいられるのでしょうか。

今は、お好きなジャンボシューをおそばに置いて御長男の風間先生のお描きになった肖像画の中でほほえんでいられます。



あなたの生活習慣をチェックしよう!

設問	はい	いいえ
20歳のときの体重から10kg以上増加している。		
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない。		
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない。		
同世代の同性と比較して歩く速度が遅い。		
この1年間で体重の増減が±3kg以上あった。		
早食い・ドカ食い・ながら食が多い。		
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。		
夜食や間食が多い。		
朝食を抜くことが多い。		
ほぼ毎日アルコール飲料を飲む。		
現在、たばこを習慣的に吸っている。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「これまで合計100本以上、または6カ月以上吸っている者」であり、最近1カ月間も毎日、またはときどき吸っている者)		
睡眠で休養が得られていない。		

「はい」と答えた項目が多いほど、メタボリックシンドロームになりやすい生活習慣を送っています。



今回のトピックス

整形外科 火曜日担当 相部先生から大島先生に

- 今まで火曜日、木曜日に整形外科外来を担当して下さった相部先生が6月末日で木曜日のみの担当になり、火曜日は新しく大島先生が担当して下さることになりました。
水曜日の及川先生、金曜日の佐藤先生と共に今後も充実した内容の整形外科診療をご期待ください。

七夕祭り院内でのイベントメニュー

- 7月7日の七夕祭りにちなんで、イベントメニューが栄養科から提供されました。
- 七夕祭りは日本では梅雨の最中です。今年は空梅雨も心配されましたが台風3号の影響で水不足は何とかなりそうです。
もうそろそろ本格的な夏が始まります。

院内での接遇研修実施

- 6月19日(火)、6月28日(木)の午後4時40分から職員の研修会が実施されました。
- 患者様からクレームがあった場合の対応について、真剣に研修いたしました。



集団栄養指導を始めました

栄養科 若井 麻樹

生活習慣病が騒がれるようになり、近年はメタボリックシンドロームという言葉もよく耳にするようになりました。平成16年の国民健康・栄養調査によると40～74歳男性で2人に1人、女性では5人に1人がメタボリックシンドロームの疑いが強い、又は予備軍であると報告されています。

これらを受け、平成20年4月から40歳以上の被保険者・被扶養者に対して、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導が実施されます。

武見敬三・石田祝稔、厚生労働副大臣もメタボリックシンドローム撃退に向け日々奮闘中です。

ホームページで両副大臣の経過が見られますので興味のある方はご覧になって下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/metabo/index.html>

栄養科もこれらに向け、栄養指導は個人指導のみの対応をしてきましたが、なるべく多くの患者様に食事に興味を持っていただきたいと思い集団栄養指導を始めることにしました。



初回となった5月8日は高血圧をテーマとして1階の待合ロビーにて無料健康講座という形をとりました。参加人数は9名となり、簡単な試食も含め約40分間の講座でしたが質問も多数あがり活気のある時間となりました。6月より集団栄養指導として本格的に始動しています。指導後は熱心に取り組んでいても、時間が経つにつれて指導前の食事パターンに戻ってしまうケースも少なくはありません。食事は毎日のことです。より多くの人に興味をもっていただき、生活に沿った内容で長続きできるような指導を栄養科も心がけていきたいと思っています。

集団栄養指導の日程は以下のようになります。また、個人指導も引き続き行なっています。

